

(様式1)

笠 教 第 4 5 号
令和6年7月19日

文部科学大臣 殿

笠松町長
古田 聖人

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称
笠松町公立学校等施設整備計画
2. 計画期間
令和5年度（1年間）

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和6年3月

(2) 評価の方法

施工後において照度が低い箇所の調査を行う。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、おおむね達成できた。
光の質や機能性に優れたLED照明を導入することにより、安定して明るい教室を長時間維持することができ、消費電力削減による二酸化炭素排出量等環境負荷の軽減と、LED管球は寿命が長いいため交換等の頻度が少なく、ランニングコストの削減ができた。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

即時点灯性が高く、照射力に期待できるLED照明に更新することで、学習環境の改善を図った。
LED照明は省エネ・長寿命であることから長期的な視点で学校教育財源の確保に繋がった。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業 区分	整備方針				事業完了 年月日	(実施なかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりわし時期を明記)
			事業単位	建物 区分	構造 区分	全事業期間 (契約～完成)			
笠松小学校	(4)	06	大規模改造(教育内容)	校	R	R5.5～R6.3	R6.3.29		
下羽栗小学校	(4)	06	大規模改造(教育内容)	校	R	R5.5～R6.3	R6.3.29		